

第六話

狐たち



《そのー》
赤坂奴あかさかやっこ

多賀城から塩釜さ抜けるどこに坂があるのね。

そこを湯壺ゆつぼの坂というのね。その湯壺ゆつぼの坂、ずっと上ると稲荷さまがあるのね。

その稲荷さまのどこに赤坂奴あかさかやっこって名前の狐いたんだと。

岩切の岩蔵っていう人がいてね、塩釜さ魚買いに行ったが、いつまでも帰ってこねえから、家の人を迎えさ行ったんだと。

そしたら、そこにあった池に入ってね、

「ああ、いい湯だ。いい湯だ」

って、首まで浸かっていたんだと。

それは、ここに住んでいる赤坂奴あかさかやっこっていう狐でしゃ、この狐が娘に化けて出てきては、

「こっちで、お風呂さ入っていかいん」
って、誘うんだとしゃ。

赤坂奴あかさかやっこは白狐でしゃ、きれいな女に化けて、通る人をだましていたんだと。

岩蔵さんは、買ってきた魚、赤坂奴あかさかやっこにみんなとられてしまったのよ。